

# 桂・ニュース

KATSURA  
NEWS

## 基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な  
基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次  
の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

11  
月号  
NO. 128  
2006・11・1  
毎月1回・1日発行  
〒615-8256 京都市  
西京区山田平尾町17  
TEL075-391-5811(代)

編集：庶務課  
印刷：(有)アクト

京都桂病院ホームページ

<http://www.katsura.com>



# COPD

～ 病気と治療～

呼吸器センター  
部長

西村 浩一



今回は、COPDという病気について紹介したいと考えま  
す。COPDとは、Chronic Obstructive Pulmonary  
Diseaseの略語で、日本語に訳すと慢性閉塞性肺疾患と  
なります。以前には、肺気腫や慢性気管支炎という病名も  
使用されてきましたが、様々な病名が使用されるのは好  
ましくないため、わが国でも、この病気をCOPD（シーオ

ーピーディ）という病名で統一して呼ぶように勧められて  
います。COPDは、北米では死亡原因の第4位、就労不  
能の原因の第2位を占め、社会的にも大きな問題となっ  
ています。この病気は、どんどんと増加しており、2020  
年には世界の死亡原因の第3位になると予想され、わが  
国でも今後爆発的な患者数の増加が懸念されています。

**C**OPDは、肺機能検査（スパイロ検査）で1秒率または1  
秒量が低下することで診断されます。したがって、肺  
機能検査を実施しないとCOPDとは診断できません。肺機能  
検査というと特殊な検査のような印象をもたれるかもしれ  
ませんが、きわめて簡単に数分以内に終了します。みなさんが  
よくご存じの肺活量はCOPDでは正常のことが多く、これとは  
異なる指標である1秒率（最初の1秒間に呼出される空気  
量の比）が70%を切る場合、閉塞性障害と呼ばれCOPDの  
診断の根拠となります。

長期間の喫煙が、唯一明確なCOPDの原因であり、逆に大  
量喫煙者の10～15%が将来COPDの病気になると考えら  
れています。わが国での疫学的研究では、40歳以上の8.5%  
にあたる520万人がCOPDであると試算されています。世界  
中でCOPDが正しく診断されておらず見逃されているという  
批判があり、これは簡単な肺機能検査をきちんと実施しない  
からであると考えられています。したがって、呼吸器センター  
の呼吸器内科の外来では可能な限り肺機能検査を実施する  
ように努めています。

COPDの治療は、禁煙、薬物治療、呼吸リハビリテーション、  
呼吸不全を合併した場合の酸素療法から成り立ちます。薬物  
治療は、吸入療法が主体であり、吸入手技の習得が必要であ  
るため、呼吸器センターの外来では繰り返してその指導が実  
施されます。COPDの治療は、内服薬はほとんど使用されま  
せん。

COPDの患者さんは、気道感染や肺炎などを契機として、

急速に病状が進行して悪化することがあり、COPD急性増悪  
と呼ばれます。重症の急性増悪では、呼吸不全から生命の危  
険が生じることもまれではありません。このCOPD急性増悪は、  
現在では治療可能であると考えられており、たとえ重症で人工  
呼吸器管理となっても大部分は離脱が可能で救命できるので、  
悪化前の状態への回復がその治療の目標となります。このため、  
適切な治療を行わずに救命の可能性を失うことがないように  
しなければなりません。

このように、COPDは多くて重大な慢性的呼吸器疾患であ  
ることは間違いありません。しかし、一般の方々のみならず医  
療従事者や医師の中においても、この病気の知識が十分普及  
しているとはいえないのが現状です。

最後に、COPD-info.net (<http://www.copd-info.net/index.html>) というホームページには、患者さん向  
けの情報が満載されていますので、ぜひ参考にご利用ください。

## 《スパイロ検査》



1 鼻をクリップで  
つまみ、筒をく  
わえる



2 数回普通に呼  
吸をする



3 かけ声に合わ  
せて最大限に  
吸えるだけたく  
さんの息を吸  
い込む



4 できるだけ速  
いスピードで吸  
った息を吐き  
きる